

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【公表番号】特表2014-530934(P2014-530934A)

【公表日】平成26年11月20日(2014.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-064

【出願番号】特願2014-537099(P2014-537099)

【国際特許分類】

C 1 0 G 9/00 (2006.01)

【F I】

C 1 0 G 9/00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年10月25日(2016.10.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

本発明の少なくとも1つの実施形態は、熱循環システムを通して繰り返し循環される急冷媒体の粘度の増加を低減させる、または粘度および熱伝達係数の低下を維持する方法を対象とする。本方法は、保存組成物を急冷媒体に添加するステップを含む。本組成物は、a) 高温重合阻害剤、b) タール分散剤、およびc) 粘度低減剤を含む。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

本組成物は、高沸点溶剤をさらに含み得る。高温重合阻害剤は、1-ナフトールもしくはヒンダードフェノール、またはそれらの組み合わせであり得る。タール分散剤は、アルキル置換フェノールホルムアルデヒド樹脂であり得る。粘度低減剤は、オレフィン-アルキルマレイン酸塩コ-ポリマーであり得る。本組成物は、100~10000ppmの量になるように急冷媒体に添加され得る。急冷媒体は、急冷油であり得る。熱循環ループは、エチレン工場における一次分留塔急冷油ループであり得る。熱循環ループは、エチレン工場またはEDC(二塩化エチレン)/VCM(塩化ビニルモノマー)用途における一次分留塔から成る群から選択されるものであり得る。反応槽内の急冷媒体の滞留時間は、大きく変化し得る。反応槽内の急冷媒体の温度は、20~300であり得る。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0024

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0024】

少なくとも1つの実施形態において、組成物は、エチレン工場またはEDC(二塩化エチレン)/VCM(塩化ビニルモノマー)用途における一次分留塔の急冷油ループ、およびそれらの任意の組み合わせを含むが、これらに限定されない産業施設における急冷媒体中の粘度の増加および熱伝達係数の低下を防ぐ。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

これで、本発明の好ましい実施形態および代替の実施形態の説明を終了する。当業者であれば、本明細書に記載の特定の実施形態に対する他の等価物を認識することができ、それらの等価物は、本明細書に添付される特許請求の範囲によって包含されるよう意図されている。以下、本発明の例示的な実施形態を列記する。

[1]

熱循環システムを通して繰り返し循環される急冷媒体の粘度の増加を低減させる、または前記粘度および熱伝達係数の低下を維持する方法であって、前記方法は、保存組成物を前記急冷媒体に添加することを含み、前記組成物は、

a) 高温重合阻害剤と、b) タール分散剤と、c) 粘度低減剤と、を含む、方法。

[2]

前記組成物が、高沸点溶剤をさらに含む、項目 1 に記載の方法。

[3]

前記高温重合阻害剤が、1 - ナフトールまたはヒンダードフェノールである、項目 1 に記載の方法。

[4]

前記タール分散剤が、アルキル置換フェノールホルムアルデヒド樹脂である、項目 1 に記載の方法。

[5]

前記粘度低減剤が、オレフィン - アルキルマレイン酸塩コポリマーである、項目 1 に記載の方法。

[6]

前記組成物が、100 ~ 10000 ppm の量になるように前記急冷媒体に添加される、項目 1 に記載の方法。

[7]

前記急冷媒体が、急冷油である、項目 1 に記載の方法。

[8]

前記熱循環ループが、エチレン工場における一次分留塔急冷油ループである、項目 1 に記載の方法。

[9]

前記熱循環ループが、エチレン工場または EDC (二塩化エチレン) / VCM (塩化ビニルモノマー) 用途における一次分留塔から成る群から選択されるものである、項目 1 に記載の方法。

[10]

反応槽内の前記急冷媒体の滞留時間が、大きく変化する、項目 1 に記載の方法。

[11]

前記反応槽内の前記急冷媒体の温度が、20 ~ 300 である、項目 1 に記載の方法。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱循環ループを通して繰り返し循環される急冷媒体の粘度の増加を低減させる、または前記急冷媒体の前記粘度および熱伝達係数の低下を維持する方法であって、前記方法は、保存組成物を前記急冷媒体に添加することを含み、前記保存組成物は、

- a) 高温重合阻害剤と、
- b) タール分散剤と、
- c) 粘度低減剤と、

を含み、前記高温重合阻害剤が、1-ナフトールまたはヒンダードフェノールであり、前記タール分散剤が、アルキル置換フェノールホルムアルデヒド樹脂であり、前記粘度低減剤が、オレフィン-アルキルマレイン酸塩コポリマーであり、前記急冷媒体が、急冷油である、方法。

【請求項 2】

前記保存組成物が、高沸点溶剤をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記保存組成物が、100～10000ppmの量になるように前記急冷媒体に添加される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記熱循環ループが、エチレン工場における一次分留塔急冷油ループである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記熱循環ループが、エチレン工場またはEDC(二塩化エチレン)/VCM(塩化ビニルモノマー)用途における一次分留塔から成る群から選択されるものである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記熱循環ループ内の前記急冷媒体の滞留時間が、大きく変化する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記熱循環ループ内の前記急冷媒体の温度が、20～300 である、請求項 1 に記載の方法。